

⑤ 第5委員会

「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまちづくり」



それでは、第5委員会の意見を発表します。

第5委員会のテーマは「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまちづくり」です。

このテーマについて考えるため、^{わたし}私たちは、7月25日に名古屋城の施設見学を行いました。

そこで、^{わたし}私たちは、印象に残ったことが二つあります。一つ目は、本丸御殿のちょう刻や絵などは、位の高い人が使う部屋ほどごうかで、^{ごてん}全ての人の手で精密に再現されていて、びっくりしたことです。二つ目は、いろいろな人に来てもらうために、工夫がたくさんあったことです。例えば、外国人でもわかるように音声案内やけい示板、^{そうごう}総合案内所、A Iロボットなどが外国語でも利用できるようになっていました。また、お年寄りや車いすに乗っている人が安全に通れるように、^{だん}段差をスロープに変えていました。たくさんの方が来ることができるので、よい工夫だと思いました。

その後、^{わたし}私たちは、施設見学をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまち」にするためには何をすればいいか考えました。

それでは、^{わたし}私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

名古屋城^{しきつ}を視察して、1、名古屋の人^{ち いき}もほかの地域の人^{ち いき}も外国人^{ち いき}も障害者^{しょうがいしゃ}も高れい^{たか}い者^{もの}も、だれもが安心や安全にゆったり過ごせる。2、歴史^{れきし}と芸術^{げいじゆつ}を学び、未来を考える。3、中心部から近くて広い場所だと思いました。

そこで、特に小学生が名古屋の未来を考えるイベントを名古屋城^{じょう}で開さいしたらいい

と考えました。例えば、VR^となどを使ったなぞ解きラリーや、武将隊^{ぶしょう}一日体験、未来の名古屋城^{きかく}をえがく絵画コンクールなどを企画する
といいと考えました。

名古屋城^{か こ げんざい}を、過去と現在と未来と人をつなぐ場所にしたいです。

○子ども議員

私^{わたし}は、名古屋市を「歴史を生かしたにぎわいのあるまち」にするために、外国人観光客をふやす必要があると考えました。本丸御殿^{ごてん}の外国語音声案内やガイドさんに加えて、さらに外国語のけい示板やガイドさんの人数をふやすとよいと思います。

また、私^{わたし}は書道をやっていますが、書道や茶道、華道^{かどう}などの日本文化を本丸御殿^{ごてん}の一室で外国の方々に体験してもらうイベントを開さいするとよいと思います。

ほかにも、着物を着て写真をとったり、当時の食事を試食する体験型イベントもおもしろいと思います。

○子ども議員

名古屋の本丸御殿^{ごてん}を見学しました。その中で印象に残ったものは、上らくでんの二の間の黒漆塗^{うるしぬり}金具付格天^{ごう}じょうです。ごうかですともきれいでした。以前空しゅうで焼け落ちてしまった本丸御殿^{ごてん}を10年かけて修復^{しゅうふく}し、ごうかにでき上った本丸を見て、歴史が守られていることを実感しました。

このすばらしい本丸御殿^{ごてん}を世界中の人々に見てもらいたいです。

いろいろな工夫も発見しました。一つに、日本語だけでなく、英語など外国の観光客にもわかりやすい説明書きがありました。だから、全ての人々に利用しやすくなっているので、「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまち」になると思います。

○子ども議員

ぼくは、「歴史を生かしたにぎわいのあるまちづくり」をするためには、PR動画をつくれればいいと思います。

しかし、ふつうにPRしてもうまくいかないので、だれもが安全に安心して名古屋城^{じょう}に来られるような工夫をしょうかいすればいいと思います。

例えば、お年寄^よりや車いすの方が段差^{だんさ}を楽にこえられるスロープ、外国人の方が日本語がわかるように外国語案内板をつけたりなど、さまざまな工夫があります。それらの工夫をPR動画にまとめればいいと思います。

○子ども議員

^{わたし}私は、名古屋城本丸御殿^{ごてん しせつ}に施設見学に行きました。そこでは、外国人やいろいろな人などに楽しんでもらうために、けい示板や地図などには外国語なども入っていました。PRなどでは、おもてなし^{ぶしょう}武将隊などがいました。

^{わたし}私は、「歴史を生かしたにぎわいのあるまち」にするために、PRに力を入れるといいと思いました。^{ぶしょう}武将になり切れる写真さつえいスポット、QRコードで読み取り、外国人などでもわかる動画をつくるいいと思いました。

○子ども議員

7月25日の施設見学で本丸御殿^{ごてん}へ行きました。^{わたし}私が印象に残ったものは、ちょう刻らん間、天じょうとかべの絵などです。ろう下のちょう刻らん間は、1枚の木の板が立体にほり起こされ、かべと天じょうの絵は^{せいさい}精細にびょう写されていました。絵の種類は、四季を感じられる草花の絵や、とら、ヒョウはえん起がよいためえがかれていたそうです。実物は、写真では感じられないはく力があり、とても感動しました。

この施設見学^{しせつ}に参加し、昔の技術やすばらしさを見ることができ、美術や歴史について学んでいきたいと思いました。

○子ども議員

私は、本丸御殿を見学して、日本人にも外国人にもわかりやすく、さまざまな工夫がされているところがよかったですと思いました。例えば、ガイドが外国語で説明をしたり、けい示板の外国語表記、音声案内、AIロボットです。本丸御殿は説明があるととてもよくわかり、印象に残ります。

音声案内を使うと、各部屋のマークに近づくだけで説明を聞くことができます。音声案内は有料なので、無料にすることによって外国人をふくめ多くの人を利用し、本丸御殿をより楽しんでもらえると思います。

○子ども議員

私は、名古屋のまちを「歴史を生かしたにぎわいのあるまち」にするためには、本丸御殿の中にあつたような外国人向けの音声案内やけい示板などが町の至るところにつくることができれば、外国人観光客も迷うことなく安心して名古屋に来て楽しんでもらえると思います。

また、名古屋城は戦争で一度焼けてしまいましたが、当時の資料などがあつたので、名古屋城自体を木造で復元しようとしています。名古屋城ができれば、いろんな人に喜んでもらえると思いました。

○子ども議員

私は、名古屋をにぎわいのあるまちにするには、お年寄^よりや車いすに乗っている方、外国から来た方も気軽に立ち寄^よれるまちにすると思います。

そのためには、ほかの施設^{しせつ}も本丸御殿^{ごてん}のようにバリアフリーにしたり、外国の方も日本のルールを知ってもらい、安全に過^すごしてもらうために、何カ国語かで書いた案内板を置いたり、外国語を話せる人がいると安心だと思います。

ほかにも、ロボットやアプリを活用して機械の力をかりるのもいいと思います。

○子ども議員

私たち^{わたし}第5委員会は、名古屋城^{じょう}を見学しました。そのとき私^{わたし}は、車いすの方やお年寄^よりが通りやすいように段差^{だんさ}をスロープにしていたことが心に残りました。案内をしてくれた方によると、これは昔はなかったそうです。見学した日も、これでお年寄^よりや車いすの方がたくさん来ていました。

このことから、「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまち」をつくるためには、昔の忠実^{ちゅう}な再現^{さいげん}だけでなく、世代や立場をこえていろいろな人が来ることができるようにするための設備^{せつび}を整えることが必要だと思いました。

○子ども議員

私^{わたし}たちは、名古屋^{じょう}城^{ごてん}の本丸御殿を見学しに行きました。「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまち」にするためには、まず、歴史を外国人の方に知っていただくと、外国の方とかかわれて、にぎわうまちになると思います。

それをするために、本丸御殿^{ごてん}では、約5カ国語が書かれているけい示板など外国人でも来られるように工夫されていたり、音声案内も外国人が使えるように工夫されていました。このような工夫をすることで、にぎわいのあるまちづくりになると思います。

○子ども議員

私^{わたし}は、名古屋の歴史を生かしてたくさんの人が集まるようにするためには、二つ意見があります。

一つ目は、ちょう刻らん間や天^{てん}じょう、壁、ふすまにある絵などがくわしくわかる美術展^{てん}を開くことです。

二つ目は、名古屋^{じょう}城^{ごてん}本丸御殿、さらに、名古屋^{じょう}城^{ちくじょう}を築城した徳川^{とくがわ}家康^{いえやす}や尾張徳川^{とくがわ}家のことがわかるスタンプラリーやクイズラリーを開さいすることです。

多くの方が興味を持ってくれたらうれしいです。

わたし

私たち第5委員会は、このようなことが名古屋を「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまち」にするために必要だと考えました。これで、第5委員会の発表を終わります。

■ 鹿島経済水道委員長の答弁

けいざい

とうべん

第5委員会のみなさん、発表おつかれさまでした。たった3日間の期間でしたが、この短い間に自分の目で見たもの、聞いたこと、感じたことを子ども委員長、子ども副委員長を中心に、仲間と話し合い、協力し合い、わかりやすくまとめ上げることができました。

また、一人一人の発表もしっかりでき、聞いてくださった方々にみなさんの思いが伝わったことと思います。



わたし

私たち第5委員会は、「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまちづくり」をテーマにかかげ、7月25日に名古屋城の施設見学を行いました。

本丸御殿は、1615年に徳川家康によって初代はん主徳川義直公の住居、執務所として建てられましたが、1945年に不幸な戦争の空しゅうによって焼失してしまいました。本丸御殿の復元を目指して平成21年から工事が始まり、平成25年には、げん関と表書院、平成28年には、対面所と下御膳所を公開し、ことし6月8日に全体公開となりました。

第5委員会の子ども委員会のみなさんの視察は、げん関から始まり表書院、対面所、くじゃくの間、そしてうめの間などを学芸員さんの説明を聞きながら見て回りました。そして、見学の仕上げは上らくでんでしたね。その上らくでんには京都の風景がえがかれてお

り、はん主の私的^{してき}な対面の場にふさわしい落ちついた空間と、全体から伝わってくるごうかけんらんさにおどろきの声を上げていた子ども議員も多かったように思われます。

さあ、本題にもどしましょう。名古屋の歴史を生かした名古屋の魅力^{みりょく}を発信して、いかにしてこの名古屋のまちを活気あふれたにぎわいのあるまちづくりができるか。第5委員会のみなさんは、本丸^{ごてん}御殿見学を通して多くの点に気づき、たくさんの提言^{ていげん}をしてくださいましたね。その提言^{ていげん}の中には、我々大人^{われわれ}が日ごろから見過^すぎしていることもあれば、全く気づいていなかったことも、新たな意見もありました。

ちょうど、この原こうを書いていたのがけさで、けさのNHKテレビでタレントの岡村^{おかむら}さんが5歳のチコちゃんにしかられていましたが、我々大人^{われわれ}の議員も、今ここに見える子ども議員のみなさんに「ボーっとしてんじゃねえよ」としかられないように、みなさんからいただいた貴重^{きちょう}な提言^{ていげん}を今後の名古屋市政に生かしながら、魅力^{みりょく}にあふれた、にぎわいのある名古屋の実現^{じつげん}にまい進していくことを第5委員会のみなさんにお約束させていただきます。

また、最後になりましたが、浅野^{あさの}副委員長、山田^{やまだ}副委員長、板倉^{いたくら}指導員^{しどう}のお導^{みちび}きと名古屋城^{じょう}の方々の御指導^{しどう}を深く感謝^{かんしゃ}させていただき、私の答弁^{わたし どうべん}とさせていただきます。

みなさん、よくがんばりました。おつかれさまでした。

